

# 北海道新聞

## 号外

発行所  
**北海道新聞社**  
 郵便番号 060-8711  
 札幌市中央区大通西3-6  
 電話 011(221)2111  
 ©北海道新聞社 2017

一斉にスタートを切る伊達ハーフマラソン出場者



## 伊達に春風 3900人快走

### 第30回ハーフマラソン

第30回春一番伊達ハーフマラソン(実行委、北海道新聞社主催)が16日、伊達市のだて歴史の杜総合公園を発着点にしたコースで開かれた。3キロ、5キロ、10キロとハーフマラソン(21・0975キロ)の4種目に、昨年とほぼ同じ合計約3900人が出場した。

市民有志のマチおこしイベントをきっかけに始まり、2000年の有珠山噴火による中止といった試練を乗り越え、30年の節目を迎えた。雪解けの早い伊達の田園地帯を舞台に、道内のマラソンシーズンの幕開けを告げる大会として、すっかり定着した。檜山管内厚沢部町から参加した函館走ろう会所属の中野健二さん(54)が「ゴールまで楽しく走ることを誓います」と選手宣誓し、ハーフマラソンの出場者から順次スタートした。

### 中野さん選手宣誓 沿道から熱い声援

スタートした。雲が多く、朝方は小雨もぱらついたが、競技開始時には太陽が顔を出した。道内外から集まったランナーは市街地を駆け抜け、有珠山や昭和新山を眺めるコースを力走した。沿道では、市民や参加者の家族らが惜しみない声援を送り、給水や交通整理などで大会運営を支える大勢のボランティアが活躍した。



有珠山を背に走る出場者たち



ゴールを目指し走る小学生たち



沿道からの声援を受ける選手たち

# 力強くゴール



10キに挑む車椅子ランナー



選手宣誓をする昨年優勝者の中野健二さん



元気いっぱいスタートする小学生駆伝

## より安全に さらに安心できる医療の提供を…。

健康であることが、幸福感の基本となります。

医療の基本は患者様が何のストレスも感じることなく、安心できる治療の提供を実現するところにあります。

いぶり腎泌尿器科クリニックは常に患者様の立場を第一に考え、フットワークの良い医療を基本理念に全スタッフが患者様のためにいま何が必要かを常に意識し、素早く対応できる医療機関であることを目指しています。



医療法人社団 ————— 泌尿器科・血液透析  
**いぶり腎泌尿器科クリニック**

■院長 坪 俊輔 ■副院長 竹内 豊 ■部長 仲山 明宏

伊達市梅本町2番地15 TEL 0142-21-1400 FAX 0142-21-1401  
<http://www.ibujin.com>

●診療時間/月・火・木・金曜日/8:30~12:00・13:00~16:30 ●水・土曜日/8:30~12:00 ●日曜日・祝日/休診